

NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.04

岡村の最近の注目ニュース ビジネス予備校近況レポート B-EAT 会活動報告 What's up?

2019年7月

いつ始めても
遅すぎることはない。

2019/7/01

皆で迎える第七期

お陰様で、EAT (Education for Asian Talents、人財アジア) は
7月1日をもって第七期に突入。いつも応援くださる皆さまに、心から感謝申し上げます。
前を向いて学び続ける卒業生・現役生、献身的に生徒と向き合ってくださいご講師の方々、
常に要所で間違いのない道を示してくださいご無双の顧問、そして少数精鋭で会社を支え続ける社員たち
・次々と顔が浮かび感謝の気持ちで胸がいっぱいになります。
只々、ありがとうございます。

EAT ビジネス予備校卒業生・現役生の皆さんへ

「考え抜く」

ここしばらく私はネット中毒にかかっていた。始終ネットサーフィンしているから、世間で起きているだいたいのことは、知っている、と言えた。他人との雑談にはまったく困らない状況だ。

その分、ぼんやりともの考えたり、空想したりする時間が大幅に犠牲となった。そして遂に、最近、頭の中で警告音が鳴り始めた。広い世界へ！もっと広い世界へ！！それがEAT ビジネス予備校生に送り続けてきた応援歌だ。

異なる価値観と出会えば、「答えはひとつではない」ことが腹に落ちていくからだ。それぞれの思いが異なる中で、いったいどうすればよいのか？何でもいいやと割り切ってしまったら、自分の人生を生きている手ごたえが得られない。「考え抜く」とは、すなわち「自分の答えを出す」ことである。

ネットに“自分の”答えは書いていない。少しばかりの情報を手に入れたら、あとはひたすら考え抜くのだ。

今回、大変お忙しいなか麻植顧問がご投稿くださった。簡潔なメッセージから何を読み取れるかは、一重に読み手の成熟度に依存している。危ない！自分の中で警告音が鳴っている正体はこれだったのかとまた一つ学んだ。

抽象化とケーススタディ

未来を創る財団 事務局長
株式会社人財アジア 顧問 麻植 茂



私は年に1回、EATビジネス予備校の講座をもたせていただいています。

私が話すことは、シンプル。

ものごとの「本質となる概念」。

ものごとの観察にはじまって、概念となる「抽象化」にたどりつく。

概念とは抽象化。

ぼーっと見ているだけでは、色が違うとか、形が違うとか、面白いとかで終わります。

では、、、

「仮説」をもって眺めると、一味違ってきます。

もたなくてもいいでしょうけど、もつと、スピードが違う。

ま、それでもいいですが、そういうのは、幼稚園生の仕事。

観察から、ものごとの本質に迫る観察をする。

そのためには、森羅万象、さまざまな角度の勉強がいる。

勉強は、さまざまな「角度」が大切。

達磨太子は9年間ですか、座禅を組んだまま壁に向かっていた、という。これは示唆に富む。

壁に向かって壁だけ見ていたら半日で飽きる。

壁に向かって、想いを巡らす。

前には壁しかないから、想いを巡らしつづける。

おそらく、さまざまな角度からものが見えてくるようになるでしょう。

勉強すると、連鎖的にテーマがでてくるようになる。

連想的に異なるテーマも浮かぶ。

これらは、抽象化プロセスのトレーニングになる。

抽象化されると、まったく別のものごとにその概念を落とし込むことができる。

多くの人が苦手にする簿記。

簿記学などありますが、学問とは思えない。

簿記は方法論でしょう。

簿記を抽象化すると、例えば借方貸方（左側右側でもよい）のマトリックス。

マトリックスの概念で簿記を展開すれば、違った世界が見えてくる。

日本人は抽象化に弱い、と言われていました。

例えば車のように、は、例示であって、抽象化ではない。

抽象化は、例えば、ではない。

抽象化は、モノ、コトの本質を概念にし、言語に変換すること。

車を抽象化すると、移動とか、時間（の短縮）とか、エンジョイ（・ライフ）とか、ライフ（ライン）であったりしてよい。

抽象化の仕方によって、その後の展開の仕方が異なってくる。

いまのところ、抽象化のハウツーはない。

ケーススタディは、抽象化し、それを別のケースに落とし込むトレーニング手段です。

いくつもケーススタディを繰り返すのは、観察→抽象化→具体化の訓練のためであり、ケースを覚えるためではないです。

いや、それらケースの話は忘れるとちょうどいい。

やったケースから抽象化するとなにが見えてくるか、です。

(了)

B-EAT ビジネス予備校のOB/OGによる地域を超えた繋がり

福岡クラスが初めて1期・2期生でのB-EAT開催



●前半：福田先生による特別授業
「米中貿易摩擦による日本株への影響について」ディスカッション。



●後半：懇親会開催
お酒を交え1期生、2期生の顔合わせ。
自己紹介をしなくても意気投合(^^)

What's up?



森谷 和弘

Moriya Kazuhiro

EATビジネス予備校東京クラス
2期生
データ解析設計事務所 代表
データアナリティクスラボ株式会社

東京2期生の森谷です。

2018年9月からフリーのAIコンサルタント、AIエンジニア、データサイエンティストとして独立しました。自分の力がどこまで通用するか挑戦したり、独立後に出会った仲間と会社を共同設立したり、「行動を起こせば人生は変わる」という理念で自由に活動しています。